

なごやか地域福祉ニュース

2020.12

第38号



発行：なごやか地域福祉2020推進事務局

「なごやか地域福祉2020」がスタートしています！



「なごやか地域福祉2020」（計画期間：令和2年度～6年度）は、第3期名古屋市地域福祉計画と第6次名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進計画とを一体的に策定した名古屋市における地域福祉の方向性を示した計画です。

策定にあたっては、私たちの地域をとりまく現状と福祉課題・生活課題や新たな今日的課題を踏まえ、市政アンケートや各種アンケート調査、地域福祉活動の現地視察などを通し、多くの市民の意見を取り入れ、議論が進められました。

「なごやか地域福祉2020」が目指すもの

〈基本理念〉 人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち、名古屋を目指して

〈基本目標〉 地域共生社会の実現に向けて、市民、地域に関わる様々な団体、社会福祉協議会や行政が互いに手を携えて連携・協働し、地域の誰もが役割を持って、つながり支えあいながら、自分らしく暮らし活躍できる地域社会を目指します。

課題解決に向けた私たちの取り組みの展開



「なごやか地域福祉2020」では上記の基本理念と基本目標をもとに、3つの取り組むべき方向性を示しています。今回からは記載されている内容についてご紹介していきます。

福祉課題・生活課題

つながりの希薄化と地域からの孤立の問題

方向性1

つながり支えあう地域をつくる

～社会的な孤立を生まない地域を目指す～

① 孤立を生まない地域づくり

- I. 高齢者、障害者、子育て世帯、外国人市民等様々な住民が交流し、ふれあえる機会の創出
- II. 見守り体制の充実

② 困ったときに支えあい助けあえる地域づくり

- I. 住民が主体的に地域課題に取り組むことができる仕組みづくり
- II. 災害に備える日頃からの支えあいの取り組みの推進
- III. 避難生活における福祉的な配慮

公式ホームページでは、計画及び推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



